四月号塾だより

発行
2022.3.22
編集
山口学習塾
山口将志
樋口淳一
矢田力椰
大崎拓己

今月号のトピックス

- 公立高校入試結果2022
- 春期講習（小学生春休み日程）
- 私の受験体験記　大学編
- 北辰テストについて

春期講習（小学生春休み日程）

☆3月26日～4月6日は中学生の春期講習期間となります。
☆春期講習期間は、小学生の授業は特別日程となります。

『小学生の春休み日程』
3月29日（火）英語教室14：00～15：00

3月30日（水）計算教室14：00～15：00
国語教室15：10～16：10

4月 5日（火）英語教室14：00～15：00

4月 6日（水） 計算教室14：00～15：00
国語教室15：10～16：10

5月の連休に関して

現段階では4月30日（土）、5月1日（日）、2日（月）、3日（火）、4日（水）、5日（木）を休塾の予定にしています。今後の情勢次第では休塾の予定を変更することもございます。また、各学校の定期テストの日程によっても変更する可能性がございますので、学校の行事予定表が出されましたら教室までご提出ください。お願いいたします。

公立高校入試結果2022

本年度の高校入試、全員が第一志望合格とはなりませんでしたが、全員が最後まで努力を重ねてくれました。卒業生たちの努力の結果をお伝えします。

川越女子	1名
所沢北（普通）	3名
所沢	1名
川越南（普通）	1名
坂戸（普通）	3名
松山（普通）	2名
市立川越（普通）	1名
市立川越（国際経済）	1名
松山女子	3名
所沢西	1名
新座総合技術（食物）	1名
朝霞西	1名
入間向陽	3名
坂戸西	3名
浦和東	1名
川越西	2名
所沢中央	2名
川越初雁	1名

私の受験体験記　大学編

突然ですが皆さん、『学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話』をご存じでしょうか。一昔前に流行した、ある女子高生の受験体験を記した書籍です。2015年には有村架純を主演に映画化もされました。タイトルを見ればどのような内容なのかが一目でわかりますね。

阿部寛が主演を務めている「ドラゴン桜」も大学受験を描いた作品として有名です。落ちこぼれの学生が色々な困難を経て東大を目指すという王道の受験サクセスストーリー。こちらの作品は「ビリギャル」とは違って完全にフィクションです。

私も三年ほど前に大学受験を経験した身ではありますが、「ビリギャル」や「ドラゴン桜」のようなドラマティックな展開は少しもありませんでした。ビリでもなければ当然ギャルでもなく、ドラゴンでもなければ桜でもない、いたって普通の男子高校生でした。そもそも受験勉強というものは机に向かってひたすらにペンを動かすという地味なもの。スポーツのように一瞬に全てを賭けるような緊張感や駆け引きが味わえるようなものではないことは、ここまで地道に勉強してきてくださった生徒の皆さんにも理解していただけるのではないでしょうか。

今回は個人的な大学受験の体験について記したいと思ったのですが、高校受験に比べてはるかにエピソードが少ないので受験の時に意識していたことについて書こうと思います。

受験勉強をするときに私が意識していたのは、その科目の役割を考えることです。

例えば、皆さんは国語の評論の問題を解く意味を考えたことはありますか。現代の問題点に触れるものだったり、芸術に関するものだったり、様々な内容の評論文が出題されますが、評論の問題において求められているのは内容を深く理解する力よりも、適切な形式で答える力だと思っています。

例えば「～なのはなぜか」「～と筆者が述べたのはどうしてか」といった理由を聞かれている問題があったとして、皆さんはどのように答えの最後を結びますか？「～から。」と考えた方、よく勉強していますね。ふつう、理由を問われた場合、「～から。」と答えるのが適切です。理由を聞かれているのにこれ以外の文末で答えている場合には、減点されることがあります。

評論の問題で大切なのは「問題文とキャッチボール」をすることだと思っています。何を聞かれているのかを明確に把握し、理由を聞かれているのなら「～から。」という解答で返し、「どういうことか。」と問われたなら「～ということ。」と答える。求められた形式で答える力が評論問題では重要なのです。

この適切な仕方で答える力は日常会話でも必要な能力です。例えば何気ない会話の場面で「どんな食べ物が好きですか？」と質問されたとします。そこで何らかの食べ物の名前を挙げれば、会話のキャッチボールが成立します。しかし「電車！」や「走ること！」と答えたらどうでしょう。「電車」という答えの場合、電車を食べ物だと思い込んでいる人たちの間では、このやりとりはコミュニケーションとして成立しますが、一般的には会話として成り立ちません。「走ること」という返答の場合も同様で、そもそも「走ること」には実体がないので、口に入れることすらできません。この二つの返答は、「食べ物の種類を答えることが求められているのに、解答が食べ物ではない」という点で間違っているといえます。

このように評論問題は問いに対して適切な答え方ができるかどうか、という能力が測られていると思います。また、どのような力が求められているのかという教科に対する認識があれば、勉強する指針にもなりますし、問題文に直面した時にどこに注目すればよいのかがわかります。勉強に行き詰った方がもしいましたら、いったん立ち止まって、その科目を学ぶことでどういった力が育てられるのか、考えてみてはいかがでしょうか。(大崎)

北辰テストついて

４月24日（日）から新中学３年生の北辰テストが始まっていきます。北辰テストがなぜ大事なのか、また、北辰テストの見方についての注意点などをお伝えいたします。

＜私立高校の確約材料＞

当塾は公立高校入試を目指して指導を行っておりますが、毎年ほとんどの生徒がすべり止めとして私立高校を受験します。その私立高校の合格に大きな影響があるのがいわゆる”確約”と呼ばれるものです。”確約”とは、各私立が設定する成績基準に達している生徒は優先的に合格させる、という私立高校側からの約束のようなものです。この”確約”を得た場合、その私立高校にはほぼ確実に合格するといってもいいでしょう。多くの私立高校で、確約の判断材料となるものは３年時の学校の通知表と、３年時の7月・９月・１０月・１１月・１２月の北辰テストの結果です。北辰は７月～１２月の５回のテストのうち、上位２つの成績の平均をみる学校が多いです。つまり、７月からの北辰テストで２回いい成績をとってしまえば滑り止めの私立高校の合格がほぼ決まってしまうのです。ですから、７月からの北辰テストは私立高校の入試と同じくらい重要だといえるのです。

＜北辰テスト受験の目安＞

第1回、第2回の北辰テストは練習として1回は受けておいた方が良いかもしれません。７月以降の北辰テストは私立高校の確約がとれるまでは受験していただきたいと思います。私立高校の確約がとれた後は、無理に受験しなくてもいいと毎年お伝えしています。